

うしごめ消防署だより

令和3年2月号



東日本大震災から10年

震災特集

～あの日を忘れない～



大地震が発生し、あなたの家族や大切な人が家屋や家具などの下敷きになっていたら・・・あなたならどのように対応しますか??

大地震であなただやあなたの大切な家族等の命を守るために一番大切なことは、自助・共助です。

新しい日常での地震対策

自助・・・転倒・落下・移動防止

地震 に対する 10の備え

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- けがをしったり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- 食器櫃や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 敷居物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塙の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塙は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

消火の備えをしておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（漏れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



火災発生の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置しておく。



非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー（PSEマーク付）など、必要な電源を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にするなど、隣近所との協働体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう

- 自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を高めておこう

日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急処置、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



共助・・・防災訓練への参加

「でも今はコロナ感染が怖い」

東京消防庁 リモート防災

検索



防災学習

東京消防庁 TOKYO FIRE DEPT.

令和3年牛込消防署管内の災害状況 (令和3年1月末現在)

災害種別等	件数
火災件数	1件
火災による死者	0人
火災によるけが人	1人
焼損床面積	0㎡

1月中の火災

建物ぼや火災

